

スローテンポ通信

第 15 号

2018年3月30日

発行：一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

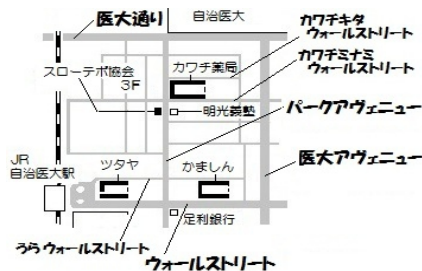
Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

☆ 道路に名前がない

こんな愛称はどうですか



ベストセラーだけがおもしろい
とは限らない!



スローテンポ書店

営業：10時～18時
日曜・月曜・祝日休み

☆ 今月の5冊:

- 『新版 こころ病む人を支えるコツ』 田原明夫
- 『山里の記憶 5』 絵と文 黒沢和義
- 『図解 食卓の薬効事典』 池上文雄
- 『新版 海のいる風景』 児玉真美
- 『希望の草原 五郎兵衛用水物語』 川元祥一作 井上洋介絵

☆ 地域を元気にするための 懇話会

水曜日午後3時～5時、参加費無料。
誰でも参加できる意見交換の場です。

話すことは最も簡単なコミュニケーション手段です。今月は「地域づくり」について意見を交わしてみませんか。

☆ 文章を書いてみませんか

文章は最も冷静なコミュニケーション方法です。書いた文章を持ち寄って、言いたいことが伝わっているかどうかを述べ合い確認します。

毎週木曜日午後3時～5時、参加随時、参加費は資料代含めて、1回500円。お問い合わせは当協会まで。

ご存知ですか？

自治医大駅東口バリアフリー事業

自治医大駅東口広場と市道7002号線(通称パークアヴェニュー)のバリアフリー整備事業が計画されています。

この話を地域の人たちにしてみたところ、「知っている」と答えた人は100人中1人もいませんでした。

かといって、無関心ではありません。「車椅子が歩道の段差で立ち往生しているのを何度も見た。何とかしてほしい」「たびたび車が歩道を占拠しているので、歩行者が車道に出て迂回しなければならぬ」「東口ロータリーの敷石ブロックはすぐに破損し危険だ。通報してもすぐに補修してもらえないし、補修されてもまたすぐ別の場所が破損する」など、多くの人が日頃から訴えたいことを抱えています。

「それなら、ちょうどよい機会だから、市に要望しましょう」と言いますと、「市に言っても無視されるだけだ」と悲観的な返事が返ってきます。

市の側は、住民からの要望がないからできるだけよいものをつくろうとしているだけなのかもしれません。

さらにもう一つ、住民が個人で要望しても、個人的な要望だと判断されたら、予算の都合などと理由を付けられ無視されます。それが重なると、住民は悲観的になります。

行政と地域住民とのコミュニケーション不足は、日本全国どの地域にも共通するのですが、自治医大周辺にはさらに特殊な事情がありそうです。

自治医大周辺の街づくりは、当時の住宅公団が中心となって計画されたと聞いています。何も無いところに一から始まったのです。宅地開発が進み、宅地分譲、住宅販売が大規模に繰り広げられました。

住宅公団が提供する住宅は、「間違いはない」とみなされて評判がよく、高めの価格帯に設定されたので、働き盛りで経済的に余裕のある人たちが住み着きました。

誰もがあこがれ、しかもすでに出来上がった街に住み始めたのですから、住民には街づくりの必要もなく関心もありませんでした。市に要望することなどなかったのです。

こうして、住民と行政のコミュニケーションを媒体するものができることはありませんでした。

住民は、当初満足していたのですが、やがて年齢を重ね子どもが離れて行くと、何かと不都合が生まれます。

スーパーはあるけれど客にやさしい商店がない。ファミレスはあるが気の効いたカフェやレストランがない。殺風景で街を散歩する気にもなれない。歩道が傷んで歩きづらい。郊外にあるショッピングモールや道の駅には、車がないと行けない。

住宅公団の街づくりは、車中心で、均質なものを効率よくさばくのに都合よくできていたのです。

行政はいまだに車優先、効率優先から抜け出せないようです。車道の損傷はすぐに改修されるが、歩道の損傷は後回しになります。住民が歩道の改修を要望しても、すぐに対応してもらえず、悲観的になっていくのです。

東口バリアフリー事業はとてもよい機会です。事業の目的や理念を公にし、地域の理解のうに計画が進められるようにしなければなりません。

行政と地域間の意思疎通をよくし、だれもが満足する事業にしたいものです。

とりあえず、市の担当者には、これまであがっている地域からの要望を伝えておきました(ブログに掲載)。要望は引き続き集めます。

市担当者からは、「かならず住民説明会を開く」という言葉がありました。

あわせて、地域の総意を代弁する協議会などの必要性を指摘されました。

行政と地域の意思疎通を図るには、どうしても協議会が必要です。これを機会に、東口協議会をつくろうではありませんか。

地域の様々な要望をばらばらに言っても、市は対応に困るだけです。地域の要望は集約して市に届ける必要があります。

協議会規約案を試作しブログに掲載しました。これについてもご意見をお聞かせください。

N、ブログ記事より改変